

ハラスタディ研究（家庭と子育てに関するコホート研究）

調査へのご協力をお願い

このたび、横浜市の協力を得て、市内にお住まいの20・30代のご夫婦の中から、1万世帯を無作為に選び、家庭と子育てに関する現状や課題を把握するための調査票をお送りしています。

家庭と子育ての問題は男女で考えが異なる場合もあり、双方の意見を伺うことが大切です。そのため、**同じ調査票を女性用、男性用として1部ずつ同封**しております。お手数ですが、**ご夫婦それぞれでご回答**ください。ご夫婦それぞれのご意見を伺う調査は世界中でほとんど行われておらず、本調査の特長の一つです。また、本研究は**5年間の調査の予定**です。毎年1回、皆様に調査票をお送りし、暮らしの変化や政策の評価などを科学的に検証します。

皆さまからいただくご回答は以下のように活用されます。

①生活や子育て環境に関する政策の推進に向け、調査結果を横浜市に報告します。

横浜市では、横浜市中期計画2022～2025（原案）において、「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」を基本戦略にしています。基本戦略の実現のために科学的な根拠や検証が重要です。調査結果を横浜市に報告することで、施策の評価や改善に繋げる予定です。

②生活や子育て支援の政策立案、評価に関する重要な研究データとなり、国内外の学会や論文で報告し、世界中の夫婦の暮らしの充実に貢献します。

本研究チームには医学（産婦人科、小児科）、地域保健学、公衆衛生学、経済学、経営学、データサイエンス学を専門とした学際的なメンバーで構成されています。これまでにない新しい視点で、ヨコハマ発の世界へと発信できる研究を目指していきます。

調査票では健康状態や経済状況、普段の生活などもお伺いしております。これらは過去の研究から家庭や子育てに関連があるといわれているものです。**可能な範囲でご回答**ください。回答にはおおよそ**15分程度**かかります。お時間に余裕をもってご回答ください。

ご多忙中恐れ入りますが、調査の趣旨をご理解のうえ、**令和5年2月28日（火）**までに、調査票にご記入のうえ、**同封の封筒（切手不要）**に入れてご返送ください。**オンラインでの回答も可能**です。詳しくは調査票をご覧ください。

本研究は、横浜市の協力のもと、本研究に利用する目的でのみ個人情報の提供を受けており、この目的以外に使用することはありません。また、研究実施にあたり、横浜市立大学の研究倫理委員会の承認を事前に受けております。

ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和5年1月 横浜市立大学ハラスタディ事務局（HPもご覧ください）

本調査に関する説明文

この研究の目的：横浜市をはじめとした都市型の少子化の要因を家庭と子育ての観点から継続的な調査によって明らかにすることが目的です。本研究の成果によって、家庭と子育ての現状の把握とともに、子育てしやすいまち、政策づくりへの提言につなげます。横浜から世界に発信できる研究を目指します。

期間：2022年～2027年（予定）

実施主体：横浜市立大学 ハマスタディ研究チーム（研究代表者：原 広司）

対象者の選定理由：都市型の少子化の要因を探索するため、横浜市在住の子育て世代の夫婦を対象者集団としました。対象者集団のうち、1万世帯を無作為に抽出し、横浜市より調査目的による住民基本台帳の提供を受けて調査票を送付しました。

同意の撤回の方法：ハマスタディ HP に設置した web フォームより同意撤回の申請を行ってください。

研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益、これらの総合的評価並びに当該負担及びリスクを最小化する対策：研究対象者に身体的負担・リスクはないが、調査票に回答するため約15分の時間的拘束が生じます。また、質問内容に精神的健康に関する項目が含まれており、心理的負担が生じる可能性があります。本研究の成果により、少子化に関する制度、政策の見直し、民間サービスの活性化、Well-being に基づく政策評価などの進展により、研究対象者にとって有益となる可能性があります。

個人情報の取り扱いおよびデータの管理方法：回答済みのアンケート調査票は本学に送付され、本学内の鍵がかかった部屋で管理します。本調査で得られた個票データは大学外に持ち出しません。研究チームでデータ分析のためのデータ共有を行う場合、個人情報が含まれないように個人情報の削除および記号化によって匿名化し、データ自体に個人情報が含まれないようにします。横浜市より提供された住民基本台帳のデータは、研究チームでカギのかかった部屋に保管し、電子データで情報を保管する場合はネットワークから独立した記録メディアを金庫で施錠管理します。

研究によって得られた結果等の取扱い：本研究で得られた成果は横浜市立大学および研究チームに帰属し、研究成果として社会に発信します。

研究の資金源と利益相反：本研究は横浜市立大学 学長裁量事業 学術的研究推進事業「YCU 未来共創プロジェクト」および横浜市立大学 創立100周年記念事業募金「新たな研究創生プロジェクト」の支援を受けて実施します。本研究チーム内で、研究の計画・実施・報告において、研究の結果及び結果の解釈に影響を及ぼすような利益相反はありません。

研究に関する情報公開の方法：本研究の結果として、特許権等の知的財産権が生じた場合、その権利は原則として公立大学法人 横浜市立大学に帰属します。本研究で得られた成果を発表する場合は、研究グループで協議の上取り決めます。本研究にかかわった研究者グループでデータ収集後、国内外の学会にて発表、論文化します。

お問い合わせ先

横浜市立大学 ハマスタディ事務局（研究代表者：原 広司）
〒236-0027 神奈川県横浜市金沢区瀬戸 22-2 ハマスタディ事務局
E-mail : hamastudy@yokohama-cu.ac.jp
HP : <https://www.hamastudy.net/>